

滋賀県中学校冬季サッカー選手権（一般強化事業） 大会規定および申し合わせ事項

- ・ 2017－2018年度（公財）日本サッカー協会競技規則を適用する。
 - ・ 登録は、選手18名以内、指導教員3名以内、外部コーチ1名、合計22名以内とする。（ただし、学校長についてはベンチ入りができる。）転出、けが、病気による場合は登録メンバーの変更を認める。なおその場合、大会1日目の第1試合までに原本（校印が押されているもの）を再度本部に提出すること。それ以降の大会期間中の変更は認めない。ベンチ入りできる者についても上記の22名以内とする。
 - ・ 試合開始60分前には、監督はメンバー表を2部準備し、本部に提出する。その際、ユニフォームを主審が決定する。
 - ・ ベンチは、プログラム記載対戦表の左側のチームがコートに向かって左側のベンチに入ること。
 - ・ 「飲水タイム」および「クーリングブレイク」については（公財）日本サッカー協会が策定した熱中症対策ガイドラインに示されたものに沿う。
 - ・ 試合時間は50分ゲームとする。その際、アディショナルタイムの表示は、2日目のみ行う。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は、原則5分間とする。
 - ・ 1日目は4チームによるノックアウト方式により、各トーナメントの1位チームを決定し、その1位チームが2日目に進出する。2日目は、4チームによるノックアウト方式により優勝以下、第4位まで決定する。
 - ・ 同点の場合は、1日目は延長戦なしでPK方式により、次戦への進出チームを決定する。ただし、敗者戦についてはPK戦を行わない。2日目は10分間の延長戦を行い、決しない場合はPK方式によって次回戦に進出するチームを決定する。ただし、3位決定戦については延長戦は行わず、PK戦を行う。
 - ・ 飲水タイム、クーリングブレイクとウォーミングアップのみ交代要員がベンチから出ることを認める。
 - ・ 交代要員は、出場選手と見分けがつくようなものを着用する。
 - ・ 選手交代については、交代して退いた選手が交代要員となり再び出場することができる。また、交代回数に制限はない。ただし、交代手続きは本部で行う。
 - ・ 大会期間中、2度の警告を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。退場処分を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。
- ※ ただし、暴力行為等による退場処分を受けた者については、規律・フェアプレー委員会（専門委員長・副専門委員長で構成）で次以降の試合の出場を検討する。
- ・ ユニフォーム、パンツ、ストッキング、背番号は、申し込み用紙に記入されたものに統一すること。ユニフォーム、パンツ、ストッキングは異色のものを2種類用意する。
 - ・ 試合球は認定5号球を使用する。
 - ・ マッチウエルフェアオフィサーを置くことがある。
 - ・ 合同チームの条件
 - ① 足りないチームAから足りているチームBへ参加。主体校は、B中学校とする。【合流型】
 - ② 足りないチーム同士が合併する。3校以上も可とする。主体校は、各校の協議により決定する。【合併型】
 - ・ 会場到着後、指導教員は直ちに本部へ連絡をとること。
 - ・ 会場の美化に努め、ゴミ等の持ち帰りを徹底し、迷惑をかけないように注意すること。
 - ・ 雷等で試合が中断した場合について、その後の試合日程等については、サッカー専門部専門委員長および副委員長で協議をし、決定する。
 - ・ 大会本部では、生徒待機場所でのテント等の準備はできませんので、ご了承ください。